



知の森

～自然と共生する図書館～

設計趣旨

図書館は子供からお年寄りまで、異なる世代が交流できる施設である。そこで、今回の課題において、図書館の位置づけとして、図書館への近づきやすさ、親しみを感じてもらえるようなコミュニティ施設としてとらえ、自然環境を具現化するため、円といった幾何学を自然の中に取り込んだ。敷地に対し、一本一本を樹形に見立てた半径の異なる10個の一種双曲面形状のユニットを、本の大小、事務室、倉庫、カウンター、トイレなど機能に応じて配置した。また、北側の植栽のボリュームを生かし、そこにはテラスを設けている。これにより、図書館という空間は、内部、半外部(中間領域)、外部と連続する構成となり、その連続により、利用者は本を探る、読むといった行為、そして人と木の流れをひとつながりの空間としてとらえることができる。

建築概要

- 敷地面積：3200㎡
- 延床面積：550,41㎡
- 収容書数：35,000冊（一般図書32,000冊、児童書3,000冊）



側立面 0:1:100



正面立面 0:1:100



平面図 S:1:100